

事例番号:280274

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 32 週 5 日 胎児推定体重 1244g(-3.0SD)、胎動(-)、ノンストレスで基線細
変動減少、一過性頻脈消失を認める

妊娠 33 週 0 日 子宮内胎児発育遅延、胎児心奇形疑いのため搬送元分娩機関
へ入院、子宮内胎児発育遅延、胎児心奇形疑い、胎児心拍数
陣痛図異常(基線細変動減少)のため当該分娩機関に母体搬
送され入院

3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

4) 分娩経過

妊娠 33 週 3 日

11:33 子宮内胎児発育遅延、胎児心奇形疑い、胎児機能不全の診断で帝
王切開にて児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:33 週 3 日

(2) 出生時体重:1200g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析値:pH 7.33、BE -3.8mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 3 点、生後 5 分 6 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 早産児、極低出生体重児、心疾患

(7) 頭部画像所見:

生後 28 日 頭部 MRI で脳虚血による変化(両側視床、脳幹部の異常信号)を認める

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 診療区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名

看護スタッフ:助産師 1 名

〈当該分娩機関〉

(1) 診療区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 2 名、看護師 2 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 32 週 5 日までのいずれかの時点で生じた、一時的な胎児の脳の低酸素や虚血による中枢神経障害であると考えられる。

(2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性はある。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

(1) 搬送元分娩機関

ア. 外来における妊娠中の管理は一般的である。

イ. 妊娠 32 週 5 日、超音波断層法、ノンストレスの所見から入院を勧めたこと、妊娠 33 週 0 日に胎児発育不全、胎児心奇形の疑いのため入院としたことは一般的である。

ウ. 胎児発育不全、胎児心奇形疑い、胎児心拍数陣痛図異常(基線細変動減

少)のため当該分娩機関へ母体搬送としたことは一般的である。

(2) 当該分娩機関

- ア. 入院中の管理(超音波断層法、バイオフィジカルプロファイリングスコア、ノンストレステスト実施)は適確である。
- イ. 妊娠 33 週 0 日にベタメタゾリン酸エステルトリウム[®]の筋肉内投与を行ったことは医学的妥当性がある。
- ウ. 緊急帝王切開について、文書を用いて説明し同意を得たことは一般的である。

2) 分娩経過

- (1) 妊娠 33 週 3 日に胎児発育不全、胎児心奇形疑い、胎児機能不全の診断で帝王切開としたことは一般的である。
- (2) 帝王切開決定から約 1 時間 30 分で児を娩出したことは一般的である。
- (3) 胎児発育不全、心奇形疑い、胎児機能不全の早産児の帝王切開に、小児科医立ち会いとしたことは一般的である。
- (4) 臍帯動脈血ガス分析を行ったことは一般的である。
- (5) 胎盤病理組織学検査を行ったことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(酸素投与、バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)および、NICU に入院管理としたことは一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

- 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項
 - (1) 搬送元機関
なし。
 - (2) 当該分娩機関
なし。

2) 搬送元機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

事例検討を行うことが望まれる。

【解説】児に重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善等について院内で事例検討を行うことが望まれる。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

入院前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例について集積し、原因や発症機序について、研究の推進が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

胎児期の中枢神経障害発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。